

部 局 名	消防本部
部 局 長 名	石井 雅也
部の運営方針	<p>○市民の生命、身体及び財産を火災や各種災害から守り、災害の防止や被害の軽減に努めるため、次の取り組みを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域の安全安心を確固たるものとするため、消防団、女性防火クラブ、幼年消防クラブ、自主防災組織やその他の外郭団体と連携し、更なる消防防災体制の強化に努めます。また、地震や豪雨等の突発的な自然災害や新たな感染症を含む各種災害から市民の生命、身体及び財産を守るため、消防施設・装備等を計画的に整備し、消防・救急救助体制の充実・強化を図るため、人員補強と人材育成に努めていきます。</li><li>・令和 3 年 2 月から運用を開始している 10 市消防指令業務の共同運用では、広域的な消防・救急救助体制の強化を図り、市民生活の安全安心を確保するため、緊急通報の対応を迅速かつ的確に行います。なお、柏市との消防指令業務共同運用については、協議会の解散に向けて柏市と協議を進めていきます。</li><li>・住宅火災による死傷者ゼロを目指し、住宅用火災警報器の設置と適正な維持管理の促進に努め、各種訓練やイベントを通じて防火・防災意識の高揚を図り、予防啓発を行います。</li><li>・公表の対象となる重大な消防法令違反のある防火対象物を出さないため、人命危険や火災発生危険が高い防火対象物の立入検査を重点的に実施するとともに、消防法令遵守の徹底及び違反の是正指導を行い、市民の安全安心の確保に努めます。</li><li>・複雑多様化するあらゆる災害に対し、積極的かつ果敢な業務遂行ができるよう専科教育と幹部教育を行い、経験と知識を十二分に活用できる教育研修体制の確立に努めます。また、消防職員の服務規律の確保を推進するため、職員の倫理教育を徹底し、組織の強化を図ります。</li><li>・消防団を中核とした地域防災力の充実・強化を一層推進していくため、地域防災の担い手である消防団員の確保と装備の充実を図り、各種災害において安全確実に活動できるよう教育と訓練を行います。また、地域の実情を踏まえた消防団体制の在り方について検討していきます。</li><li>・消防団器具置場については、地域の災害活動拠点として重要な役割を担うため、建築経過年数を踏まえ老朽化が進む施設から計画的に整備を進めていきます。</li><li>・救急救命体制の充実・強化を図るため、感染症における感染防止策の徹底とメディカルコントロール体制を基本とした病院前救護の確立に取り組むとともに、救急救命士の育成、資機材等の整備を進めます。また、一般市民に対する救命講習会の開催、自動体外式除細動器（A E D）の普及と民間事業所への設置及び公表を促進し、救命率の向上につなげます。さらに、重症患者の救急要請に的確に対応できるよう、救急安心相談やこども急病電話相談の活用など、救急車の適正利用に向けた P R に努めます。</li><li>・災害時の活動拠点となる消防施設については、「我孫子市公共施設等総合管理計画」に基づき、老朽化した消防施設の修繕を計画的に行い、消防力の強化に努めていきます。（仮称）湖北消防署整備事業については、令和 3 年度より引き続き設計業務を行い、令和 8 年度の開所に向け事業を進めていきます。</li></ul>

部 局 名	消防本部
部 局 長 名	石井 雅也
部の運営方針 に対する総合 評価	<p>部の運営方針に基づき、各課ともに事務事業を適切に行ったことで、消防体制が維持され、迅速確実な災害対応が図れ、被害の軽減に繋がったと評価できます。</p> <p>今後も複雑多様化する近年の災害や新たな感染症に対して、更なる消防体制の強化・充実を図るため、平常時より計画的な人員確保と指導育成を実施するとともに、施設及び設備並びに車両更新及び資機材等の整備に取り組む必要があります。</p> <p>引き続き、消防団や女性防火クラブ、自主防災組織等の関係団体と連携強化を図りながら、災害発生時における被害の軽減を図るため、予防広報・啓発活動などの取り組みが必要不可欠であると考えます。</p>

## 令和4年度 課の目標管理書

課名：消防本部 総務課

### 1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

消防施設・装備等を計画的に整備し、消防・救急救助体制の充実・強化を図るため、人員補強と人材育成に努めていきます。

職員の知識の向上と職務能力を高めるため、教育研修体制の充実に努めます。また、消防職員の服務規律確保推進のため、倫理教育を徹底し、組織の強化を図ります。

災害時の活動拠点となる老朽化した消防施設については、「我孫子市公共施設等総合管理計画」に基づき、計画的に修繕を行い、消防力の強化に努めます。（仮称）湖北消防署整備事業については、令和3年度より引き続き設計業務を行い、令和8年度の開所に向け、事業を進めていきます

### 2. 課の目標への取組結果

課の目標で示した事項については、全ての取組みを実施した。ただし、（仮称）湖北消防署整備事業については、当初想定していた設計業務の進捗に変更が生じたことから令和5年度に繰り越して実施することとなりました。

### 3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の結果を踏まえた評価）

課長	部長
事業は概ね大きな遅延や成果の不足等もなく実施することができたと考えます。 （仮称）湖北消防署整備事業を含め、感染症対策に係る庁舎の改修等の工事に向けた設計において効果的な対応を実施することができたと考えます。	事業は概ね大きな遅延や成果の不足等もなく実施することができたと考えます。 （仮称）湖北消防署整備事業や感染対策、職員確保のための職業説明会、教育体制の充実など、組織の強化に向けた取組みができたのではないかと考えます。

### 4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

令和4年度の取組みを継続するとともに、（仮称）湖北消防署整備事業では、工事の実施に向けた設計を令和5年度に完了します。

また、消防力の充実や感染対策の強化を図るため、引き続き、職員の確保対策及び施設改修、装備の整備に取り組めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	消防庁舎・装備の整備・維持管理
	担当部署名	消防本部 総務課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1-4 消防力の強化
	施策の展開内容	災害などに適切に対応できるよう消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体との連携を図りながら消防体制を強化します。 また、火災予防体制の強化を図ります。
事務事業の目的・概要	災害に備え、消防施設等を適切に維持管理するとともに、湖北分署を移転し、人員・資機材を強化した（仮称）湖北消防署を整備します。	
関連する市の計画等	我孫子市公共施設等総合管理計画、湖北台地区公共施設整備計画、我孫子市公共施設保全計画、我孫子市消防庁舎施設等整備計画	
当該年度 実施事業（Plan）  指：指定事務事業	指（仮称）湖北消防署整備事業	貸与品の整備
	感染症対策事業	
	トイレ等感染症対策修繕	
	つくし野分署仮眠室外壁修繕	
	東消防署発電設備更新工事	
	本部庁舎空調設備更新工事	
	東消防署水槽2号車の更新整備	
	消防車両等の維持管理	
	消防庁舎・装備の維持管理	
継続費設定事業	消防施設等整備事業（仮称）湖北消防署整備設計） R3～R5 65,100千円	
債務負担行為設定事業	消防施設等整備事業に伴う用地取得及び物件移転補償費 R2～R4 31,806千円	

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	139,499	15,225	1.75	0	0.00	154,724	0	0	73,100	0	81,624
令和3年度	決算見込額	155,783	15,225	1.75	0	0.00	171,008	15,238	0	49,900	0	105,870
令和4年度	当初予算額	86,514	17,140	2.00	0	0.00	103,654	2,948	0	31,700	136	68,870
	補正後予算額	110,776	17,140	2.00	0	0.00	127,916	0	0	18,600	16	109,300
	決算額	93,013	17,140	2.00	0	0.00	110,153	2,937	0	39,800	169	67,247

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	緊急車両を含む公用車事故件数	件		目標値	0	0	0	0
				実績値	5	7		
活動 指標	感染症対策事業（トイレ等含む）	件		目標値	1	1	2	1
				実績値	0	1		
活動 指標	（仮称）湖北消防署整備事業の進捗状況	%		目標値	100	100	100	100
				実績値	100	75		
指標				目標値				
				実績値				
指標				目標値				
				実績値				
指標				目標値				
				実績値				
指標				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	ほぼ順調	当該年度実施事業については、一部繰越した事業もあったが、概ね想定どおりの活動を実施することができました。
成果に対する評価	ほぼ順調	当初期待した成果は得られない事業もあったが、その事業における他の部分で成果を得ることができたことから、相応の成果を得ることができました。
総合的な評価	ほぼ順調	当該年度のみでみた場合には実施事項の前後や変更は生じている部分もあるが、概ね想定どおりの活動と成果を得ることができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	概ね想定どおりの活動や成果を得ることができたことから、今後も現状どおり推進を図ります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	消防組織体制の強化
	担当部署名	消防本部 総務課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1-4 消防力の強化
	施策の展開内容	災害などに適切に対応できるよう消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体との連携を図りながら消防体制を強化します。 また、火災予防体制の強化を図ります。
事務事業の目的・概要	市民の生命・身体及び財産を守るため、消防職員の資質向上を図り、組織体制を強化します。	
関連する市の計画等	我孫子市第3次男女共同参画プラン、第4期我孫子市特定事業主行動計画	
当該年度 実施事業（Plan）  指：指定事務事業	外郭団体等事務運営	
	消防出初式の開催・運営	
	消防職員の人事異動	
	消防職員の派遣研修	
	消防審議会	
	消防表彰事務	
	職務環境の維持管理	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	8,778	22,185	2.55	0	0.00	30,963	0	0	0	0	30,963
令和3年度	決算見込額	8,763	22,185	2.55	0	0.00	30,948	0	0	0	0	30,948
令和4年度	当初予算額	23,815	17,140	2.00	0	0.00	40,955	0	0	0	0	40,955
	補正後予算額	23,515	17,140	2.00	0	0.00	40,655	0	0	0	0	40,655
	決算額	17,473	17,140	2.00	0	0.00	34,613	0	0	0	0	34,613

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	条例改正による消防職員数	人	目標値		152	153	164	174
				実績値	153	150		
活動 指標	消防学校、消防大専校、救急救命研修所への消防職員研修派遣数	人	目標値		22	23	21	25
				実績値	20	16		
活動 指標	消防職員による不祥事件数	件	目標値		0	0	0	0
				実績値	0	0		
活動 指標	消防職員による公務災害件数	件	目標値		0	0	0	0
				実績値	6	1		
			目標値					
				実績値				
			目標値					
				実績値				
			目標値					
				実績値				

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	ほぼ順調	概ね想定内の活動が実施できたと考えます。
成果に対する評価	ほぼ順調	目標値よりも下回った部分もあったが、概ね想定内の成果が得られたと考えます。
総合的な評価	ほぼ順調	目標値より下回った部分もあるが、概ね想定どおりの活動を行うことができ、成果を得ることができたと考えます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	概ね想定どおりの活動や成果を得ることができたことから現状どおり推進を図ることとする。 なお、職員数の確保については、職業説明会等を通じて積極的に周知を図り、引き続き、志望者の確保に努めます。

令和4年度  
課の目標管理書

課名：消防本部 予防課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

住宅用火災警報器の設置促進と適正な維持管理について、指導や普及啓発を積極的に取り組みます。

防火対象物及び危険物施設について、消防法令に基づき立入検査を行い、防火防災体制の強化を図ります。特に、重大な消防法令違反のある防火対象物を出さないため、人命危険や火災発生危険が高い防火対象物の立入検査を重点的に実施します。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組について実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の結果を踏まえた評価）

課長	部長
<p>新型コロナウイルス感染症の影響はありましたが、住宅用火災警報器の設置維持に伴う予防啓発や立入検査等については、ほぼ順調に実施しました。</p> <p>特に、今年度の査察執行方針に基づいて、人命危険や火災発生危険が高い防火対象物の立入検査を重点的に取り組みました。</p>	<p>住宅用火災警報器の設置維持に伴う予防啓発については、年間を通して実施しています。また、防火対象物や危険物施設に対し、立入検査において是正指導を強化しました。</p> <p>火災予防業務は、専門的な知識が必要なため、人材育成が課題となっています。</p>

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

近年、生活様式の変化等に伴い、災害要因が多様化しています。災害の発生を未然に防止し、被害を最小限にするため、住宅用火災警報器の設置促進及び維持管理を引き続き推進するとともに、防火対象物及び危険物施設に対する適切な指導、検査を行い、違反の是正を進めていきます。

また、火災予防業務を円滑に遂行するには、より専門的で高度な知識を必要とするため、職員の資質、技能向上に努める必要があります。

今後も防火意識の高揚及び火災予防対策の充実強化を図り、火災件数及び危険物施設の流出事故件数0件を目指します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	火災予防業務
	担当部署名	消防本部 予防課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1-4 消防力の強化
	施策の展開内容	災害などに適切に対応できるよう消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体との連携を図りながら消防体制を強化します。 また、火災予防体制の強化を図ります。
事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅用火災警報器の普及促進により、設置率の向上に努め、住宅火災による被害の軽減を図るとともに、設置状況調査を実施します。</li> <li>・法令に基づく消防設備などの違反に対し厳正な処理を行い、防火対象物の安全性の向上を図ります。</li> <li>・住宅火災による被害を防ぐため、女性防火クラブ員などによる地域住民への防火啓発や初期消火の訓練指導などの活動を行っています。</li> </ul>	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業（Plan）  指：指定事務事業	住宅防火対策の推進	
	防火対象物及び危険物施設の立入検査	
	防火対象物及び危険物施設の規制事務	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	1,040	45,240	5.20	0	0.00	46,280	0	0	0	146	46,134
令和3年度	決算見込額	1,346	46,280	5.20	0	0.00	47,626	0	0	0	168	47,458
令和4年度	当初予算額	1,353	47,237	5.90	0	0.00	48,590	0	0	0	179	48,411
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	1,209	47,237	5.90	0	0.00	48,446	0	0	0	219	48,227

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動指標	住宅用火災警報器設置状況調査世帯数	世帯	世帯	384	200	200	200	200
				0	247			
活動指標	防火対象物及び危険物施設の立入検査実施数	件	件	200	200	200	200	200
				97	179			
活動指標	消防同意事務及び危険物許可事務の件数	件	件	100	100	100	100	100
				92	93			
成果指標	住宅火災の件数	件	件	0	0	0	0	0
				5	4			
成果指標	防火対象物の火災件数及び危険物施設の火災・流出事故件数	件	件	0	0	0	0	0
				7	7			
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	ほぼ順調	新型コロナウイルス感染症の影響により、立入検査、消防同意及び危険物許可事務は、目標件数をやや下回ったが、ほぼ順調に実施しました。
成果に対する評価	ほぼ順調	住宅及び防火対象物等の火災件数は、目標値の0件とはなりませんでしたが、危険物施設の火災・流出事故は0件でした。
総合的な評価	ほぼ順調	成果に対する目標は達成しなかったが、目標の火災件数0件に向けて、住宅用火災警報器の設置維持に伴う予防啓発や立入検査等を実施しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	一般住宅、防火対象物の火災件数及び危険物施設の火災・流出事故件数0件を目指して、今後も住宅用火災警報器の設置維持に伴う予防啓発や立入検査等を実施していきます。

## 令和4年度 課の目標管理書

課名：消防本部 警防課

### 1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

市民の安全安心を守るため、各種災害への的確な対応と装備の充実強化を図り、職員の知識、技術及び資格等の習得のため、各種研修へ派遣して指導育成に努めます。また、救命率向上のため、AEDを公衆の出入りが多い施設へ設置し公表の促進を図るとともに救命講習を開催して市民の救命意識の向上に努めます。さらに、重症患者の救急要請に対応できる体制確保のため、救急車の適正利用に向けたPRに努めます。10市消防指令業務の共同運用では、緊急通報の迅速かつ的確な対応のため、ちば北西部消防指令センターの安定稼働を図ります。消防団の運営では、入団促進や知識、技術の習得について団本部役員と連携して、より一層の充実強化を図ります。その他、消防団施設等については、維持管理を的確に行い、老朽化で改修困難な団器具置場においても関係課と調整を図り、計画的に整備していきます。また、消防団員定数を満たしていない状況から、将来の消防団組織に必要な適正人員や施設、装備等も含めた消防団体制のあり方を消防団調査検討委員会で検討して行きます。

### 2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全ての取り組みを実施した。

### 3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の結果を踏まえた評価）

課長	部長
<ul style="list-style-type: none"><li>・消防体制の強化を図るため、2級小型船舶操縦士免許講習や無人航空機講習等の各種研修会へ職員を派遣し、指導育成体制の充実に努めました。</li><li>・令和3年2月から運用を開始した10市共同指令センターの安定稼働に努めるとともに、柏市との共同指令業務協議会を計画どおり解散しました。</li><li>・救命率向上のため、民間施設のAED設置に関する情報をSNS等も有効に活用しながら、市民へ積極的に公開し啓発活動の強化に努めました。</li><li>・消防団応急手当指導員を育成し、市民に対する応急手当の普及啓発及び消防団活動の啓発に努め、消防団員の入団促進に努めました。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・消防力の強化に向け、各種研修体制の充実と指導育成体制の強化に努めた。また、各種災害対応や感染症対応のため、車両及び資器材の計画的な整備に万全を図りました。</li><li>・消防団については、常備消防との連携強化を維持していくとともに、団員確保に向け入団の促進を継続的に推進しました。また、消防団体制の確保に向けた消防団調査検討委員会での内容を踏まえ、計画的な組織体制の維持に向け事業の推進に努めました。</li></ul>

### 4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

・消防体制の強化を図るため、資器材の整備や研修体制の充実に努める必要があります。また、新型コロナウイルスが発生した際に対応できるよう、備蓄分を含めた感染症対策資器材の整備を強化する必要があります。

・地域防災の要である消防団の施設及び装備に関して、計画的な充実を進めるとともに、消防団員の確保に努める必要があります。



1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	消防団活動の推進
	担当部署名	消防本部 警防課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1-1 防災・減災対策の推進
	施策の展開内容	市民や関係団体・機関と連携し、防災・減災に対する意識の向上と自助・共助・公助の体制強化を図るとともに、防災体制を整備し、発生した災害には、速やかに対応します。 さまざまな自然災害や新たな感染症など市民の生命・身体及び財産に危険が及ぶ非常事態発生時に迅速に対応できるよう、適切な情報伝達に努めるとともに、市民や関係機関と連携し、防災体制の整備及び危機管理体制の強化に取り組みます。
事務事業の目的・概要		
地域防災において重要な役割を担う消防団については、大規模災害時における地域との連携がスムーズにできるよう、団活動の拠点機能を保持するとともに、継続的な訓練を実施し、知識と技術の向上を図っていきます。また、団員の定数確保に向けて処遇改善、環境整備などを行います。		
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	消防団表彰・人事等事務	
	消防団の災害活動	
	消防団の施設・装備等の整備及び維持管理	
	消防団員の訓練	
	消防団員の入団促進	
	消防団器具置場整備	
	消防団 I P 無線機車載用更新整備及び携帯型 I P 無線機追加購入	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	30,943	20,793	2.39	0	0.00	51,736	1,864	244	0	1,001	48,627
令和3年度	決算見込額	36,493	16,287	1.83	0	0.00	52,780	0	489	0	1	52,290
令和4年度	当初予算額	16,175	19,319	2.20	23,418	15.61	58,912	0	628	0	900	57,384
	補正後予算額	15,838	19,319	2.20	23,418	15.61	58,575	0	1,017	0	0	57,558
	決算額	15,433	19,319	2.20	15,114	15.61	49,866	0	1,017	0	700	48,149

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
指標	活動指標 消防団員の入団を促進するため、啓発活動の強化を図り、消防団員の充足率を高める。	%	目標値	90	92	94	96	100
			実績値		87			
	活動指標 消防団体制を強化するため、訓練方法等を工夫し、訓練参加率の向上を図ります。（延べ参加団員数/延べ団員定員）	%	目標値	60	70	80	90	100
			実績値		90			
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	ほぼ順調	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、災害時において、スムーズな活動ができるよう定期的な訓練を実施した。また、消防団員の確保についても積極的に実施した。
成果に対する評価	ほぼ順調	消防団員の入団について、女性団員入団は増加傾向にあるものの、引き続き、消防団員の確保を行っていく必要がある。
総合的な評価	ほぼ順調	定期的な訓練を実施し、消防団員の確保を引き続き、実施していく必要がある。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、地域防災の担い手である消防団員の定数を確保できるよう処遇改善、環境整備などを行い、消防団員の知識及び技術の向上を図り、地域防災力の向上を目指して、現状通り推進する。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	消防体制の強化
	担当部署名	消防本部 警防課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1-4 消防力の強化
	施策の展開内容	災害などに適切に対応できるよう消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体との連携を図りながら消防体制を強化します。 また、火災予防体制の強化を図ります。
事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害などに的確に対応できるよう、人材の育成と装備の充実・強化を図るとともに、広域での連携体制を強化します。</li> <li>・救命率の向上を目指し、市民などへの応急手当法の普及・啓発を進めます。</li> <li>・火災または地震などの災害から市民の生命・身体及び財産を守るため、消防訓練の実施、消防機械器具を適正に維持管理していくとともに、傷病者の搬送を適切に行うため、各種感染防止対策の強化を図ります。</li> </ul>	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	西消防署・高規格救急自動車の更新	開発行為の指導及び協議
	新型コロナウイルス感染症廃棄物収集運搬処分	緊急消防援助隊及び千葉県消防広域応援隊に関する事業
	応急手当普及啓発強化	災害対応用通信設備の維持管理
	AED設置の促進	消防装備の整備及び維持管理
	メディカルコントロール体制の充実	消防隊員の知識・技術の習得
	救急・救助活動用資器材の整備及び維持管理	千葉北西部10市消防通信指令業務の共同運用
	救急・救助隊員の安全衛生管理及び感染防止対策の強化	
	救急救命士及び救急・救助隊員の研修	
	消防水利の整備及び維持管理	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業	消防指令システム賃貸借 R3～R12 570,334千円	

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	140,998	94,917	10.91	0	0.00	235,915	43,043	1,400	14,800	0	176,672
令和3年度	決算見込額	170,246	74,048	8.32	0	0.00	244,294	21,849	3,990	0	0	218,455
令和4年度	当初予算額	166,387	85,421	9.70	0	0.00	251,808	2,449	0	36,000	0	213,359
	補正後予算額	176,718	85,421	9.70	0	0.00	262,139	0	0	30,300	0	231,839
	決算額	172,804	86,227	9.57	0	0.00	259,031	10,512	7,350	30,300	40	210,829

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
指標	活動指標 通信指令業務の広域的な共同運用を実施し、消防サービスの高度化及び体制強化を図る。 (10市共同指令センターの安定稼働率)	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100			
	活動指標 感染防止対策用物品の効率的な充実に回り、隊員自らの感染を防止するとともに、市民等への二次感染防止対策を強化する。 (感染防止対策必要数/救急出動件数)	%	目標値		100	100	100	100
				実績値	100			
	活動指標 消防・救急・救助隊員の知識・技術を高度化するための研修体制を保持し、消防体制の強化を図る。(研修実施回数/研修予定回数)	%	目標値		100	100	100	100
				実績値	100			

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	新型コロナウイルス感染症に対応しながら、実施事業について目標値を達成できた。
成果に対する評価	ほぼ順調	新型コロナウイルス感染症対応物品等を遅滞なく整備できた。また、職員研修等についても予定どおり全て実施したが、応急手当普及啓発活動については目標を達成できなかった。
総合的な評価	ほぼ順調	新型コロナウイルス感染症に対応しながら、消防体制の強化に向けた事業を実施したが、応急手当普及啓発活動の更なる強化が必要である。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	新型コロナウイルス感染症に対応しながら、事業の実施方法等に工夫を凝らし、消防体制の強化に向けた事業を実施した。今後も、現在の事業を継続することが消防体制の強化に重要であるため、現状通り推進する。